

学年だより

第 23 号 2021 年 12 月 6 日 (月)

自分を大切に 仲間を大切に 豊中市立第十五中学校 42 期 第 2 学年

★期末テスト講評

国語	今回は、前回のテスト後から明らかに頑張りだした人がたくさんいました。その成果か、国語にしては多い問題数であったにもかかわらず、時間配分に気をつけてサクサク解いていましたね。これも、休業中にコツコツ課題に取り組んだ成果、日々グループワークやディベートといった学習活動に一生懸命取り組んだ努力の賜物です。よく頑張りました。ただ、残念なのは、惜しい誤答が多いこと！「文字数指定」「指定語句を用いて」「文章中から抜き出さない」等、どれも設問をよく読んでいれば、防げるケアレスミスばかりです。理由を問われたのに「から・ため止め」忘れて、減点された人もいました。抜き出しや書き入れ以外の記述問題には、原則、句読点をつける、問われたことに対応する文末に整えるなどを徹底し、解答の質を上げていきましょう。 また、前回と今回とで出題の傾向と授業時の対策が見えてきたことと思います。失敗は次への経験です。毎日の授業を大切に、2 年生でいられるのもあと少しです。3 学期も頑張りましょうね！！
数学	全体的にはよくできていました。特に角度を求める問題は正解率が高かったです。一方で、説明する問題や 1 次関数のところはもう少し努力が必要です。1 次関数は入試で必ずと言っていいほど出題されます。また、3 年生で学習する関数でも必要となります。難しいからほっておくのではなく、理解できるようにしっかり復習しましょう。 授業では「証明」が続きます。書くことも多く大変ですが、こちらもしっかり書けるようにがんばっていきましょう。
社会	期末テストお疲れさまでした。中間考査の出来が社会は良かったので、期末考査は少し難易度をあげたテストを作成しましたが、出来は中間考査と変わらず良かったように思います。先生の期待以上でした。 今回の範囲は、中学校最後の「地理」と、2 年生になって初めての「歴史」のテストでした。その中でも、良かった点は、「明らかに勉強をしていない間違い」から「勉強をしたけど間違った」に変化した人が増えたことです。採点していて「勉強したんだなぁ」という人が増えたように思いました。ただ間違いに変わりはありません。「勉強をしたけど間違った」から 3 学期は、「勉強をしたから間違えない」に少しでも近づくことを目標に、そして自分の答えに自信を持てるようにまで勉強していきましょう。 そして、反省点です。社会のテストは、問題数が多いため時間配分を気にすると、気持ちの焦りから問題文を最後まで 4 で読んでいない人がでてきます。今回のテストもそうでした。そうすると、記号で答えなければならない問題を語句で答えたり、普段は書くこ

	とができている漢字をテストでは間違えてしまうなど、とにかくもったいない間違いが目立ちました。そのミスさえ減らすと、もっともっと良くなるはずです。日頃の授業を大切に、「なぜ」・「どうして」常に考える時間を増やしなが、3 学期も頑張りましょう。42 期生の強さに期待しています。
理科	全体的によくできていました。みんなの頑張りを見ることができて良かったです。ただ、小さなミスや漢字の間違いも目立ったので、確実に点をとれるようしっかりと復習しておいてください。 次のテストは学年末テストです。いよいよ 2 年生最後のテストになります。どういう意味が分かりますか？ そのテストが終わったら、次に受けるテストは 受験生 として受けるテストだということです。どれだけの力をつけて、どんな気持ちで、受験生になるのかは学年末テストにかかっています。先に言っておきますが、学年末の主な範囲である地学「地球の大気と天気の変化」は<u>簡単ではありません</u>。おそらくテストの直前の頑張りだけでは、勉強が追いつかない人ばかりだと思います。だからこそ、これまで以上に日々の授業を大切にしてください。今回の頑張りをも 42 期生みんなが維持することに期待しています。
英語	放送問題では、A 問題の比較級などを聞き取る問題でしたが、ある程度できていたが、not as ～as や ～times as ～as が入ると、聞き取れない人がいました。B 問題では、授業で ALT の Dayna の比較級を使ったリスニングクイズをしたように、若い順番に並べる問題でしたが、間違えている人が多かった。授業でできても、できない場合がある原因は日頃の音読練習です。授業で配布しているパターンプラクティスの例文を声に出していきましょう。リスニング力をあげる＝声に出して、文字と音を一致させること です。C 問題は長い英文を聞いて、必要な情報を聞き取る問題でした。5W1H (だれが、どうする、いつ、どこ、なぜ、どのように) の視点で聞くと、解ける問題でしたが、まだまだそこが定着していないことがわかりました。今後も練習が必要です。筆記問題の魔法のプリントの単語の働きを聞く問題では、because of の使い方と without の使い方を理解していない人が多かった。復習をしっかりと。前後関係を意識して、解いていく文法問題はよくできていたと思います。前後関係を意識した並び替え問題では、授業で配布したパターンプラクティスの例文をしっかりと覚えていない人はまったくできていませんでした。覚えていた人はテストの問題では活用できていました。グラフや表を参考にして書く英作問題では、make a sushi 、use computer のように a をつけないといけないものと、つけなくてよいものの区別ができていませんでした。どちらが大切なのかを説明する自由英作文はできている人が多かったように見えます。多少のスペルミスや文法ミスは気にしないで、これからもどんどん書いていきましょう。長文問題は細かいミスが多かったです。日付の前は onなのに on を書いていない人。go there と書くのに、go to there と書いている人が多く

	いました。次からは気をつけましょう。全体的に、まだまだ定着できていないです。問題を解くスピードが遅い＝文法、単語の働きを理解できていない です。復習をしっかりと、次につなげてください。
保 体	【男子】 全体的に頑張っていたと思います。実技分野では教科書や授業で話したことを理解している人が多く感じました。保健分野でもプリント、教科書を隅々まで見ている人が多く感じました。 実生活にもつながります。きちんと正しい知識を理解して活かして下さい。 【女子】 保健分野、実技分野と全体的によくできていたと思います。保健分野は、教科書やプリントを勉強していた人が多く感じられました。実技分野では、ルールを理解できていた人と、できていない人と分かれていたと思います。特に体育大会の問題についてですが、来年度は 42 期生のみなさんが主役になります。しっかりとルールを理解しておくようにしてください。 今回わからなくても書く（埋める）という気持ちはとても良かったです。あとは落ち着いて問題に取り組むようにしてください。
技 ・ 家	〈技術分野〉 情報の基礎的な内容での出題でした。生活経験から身に付けている知識もあったと思うので、よく答えられていました。これから学年末にかけては、プログラムの意味を読み取ったり、センサーでの制御に関して改善していく方法を考えたりする学習を行います。実践的な問いに答えられるようにしておいてください。 〈家庭分野〉 住生活についての出題だったので、今までの知識を利用してがんばって解けていました。過去の点数からものすごく伸びた人もたくさんいました。次は消費生活の分野が出題範囲になります。日々の授業を大切にしましょう。 2 学期の提出物は夏休み課題、コンビニバッグ計画書・完成シート、世界の住宅プリント、ファイル、インテリアコーディネーター 2 枚です。未提出のものは確実に出しましょう。
美 術	しっかり学習出来ていた人とそうでない人とで結果が分かれたテストになりました。点数が伸び悩んだ人の解答を見ると、やはり誤字脱字、覚え間違いで、勿体ない減点が重なっているものを多く見かけました。特に、誤字はどの科目でも減点になりやすい箇所です。見直しはもちろんのこと、単に「覚える」ではなく「理解して覚える」力を身につけてください。 透視図法の消失点を見つける問題の正解率は高かったです。図法の描き方を理解しているからこそ、逆に見つけられる応用力がついていると感じました。 美術のテストはもうありませんが、他科目でも満足できる結果が出せるよう、しっかりと学習習慣を維持してください。